

令和5年度 釜石商工高等学校 第2回学校評議員会（議事録）

日 時 令和6年2月20日（火） 14:30～15:30

会 場 大会議室

出席者 【学校評議員】5名

【釜石商工高等学校 職員】10名

- 1 開会のことば
- 2 校長あいさつ
- 3 報告
(1) 各分掌から

総務部

防災について、地域との関わりを持つため、釜石市の防災訓練に参加する構想があったが、今年度も3月最初の日曜日に実施という事で、生徒については各家庭でできる事について備えることとなりますが、来年度以降は情報を得ながら活動できる機会がないか検証していきたい。

P T A活動については、コロナ5類移行に伴って、活動をしてきたが、活動できていない期間があったので、活動経験のある職員・保護者とも過去のものを参考にしながら、手探り状態での実施になった。まだまだ課題はあるが、以前のやり方にこだわることなく、その時々で変更しながら活動していきたい。

教務部

基本的な生活習慣として、3年生の出席率は99.6%、1・2年は95%になっている。学力に関しては、「授業内容が分かる」が84%から86%に微増している。しかしながら、落ち着いているクラスとそうでないクラスがあり、年度当初はすごく落ち着きがなかったが、現在は改善され、落ち着いているので、今後の成長に期待したい。

校内研修では、教科の枠を超えて、授業参観を実施し、100%の参加になり、今後の授業力の向上に努めている。

今年度は中学生に向けての情報発信に努めてきた。生徒作成の学校案内を作成し配布した。中学校への出前授業を7回実施し、好評であり、来年度も継続していきたい。

不登校傾向の生徒に対する学習方法等は、改善しながら進めている。職員が授業評価のアンケート以降どのように改善したかを検証するような仕組みをつくりたい。

生徒指導部

整容指導については、毎月、学年・科と分けて実施し、大きな乱れもなく過ごしている。校則検討委員会で頭髪について検討し、本年は、頭髪前髪を目の上に変更。安全指導については、自転車のヘルメット着用を推進。登校指導は年3回行っている。

入学して良かったと回答した割合は、生徒89%、保護者92%。
商工祭にむけて生徒会担当の努力もあり、大変盛り上がった。

進路指導部

関係機関との連携がうまくいった。企業からも会社説明や見学など沢山学びの場を提供していただいた。コロナ明けということもあり、沢山の企業の方が求人に来校していただけた。首都圏の製造業・理美容・販売の求人が増えた。それに伴い資料の量も膨大になり、整理に時間が掛

かったのが現状である。

就職・進学共に昨年同様に100%実現できた。就職希望が39名で県内に30名76%であった。本校の役割として地元へ貢献できる人材の育成という部分もあるので、今後ご指導をいただきながら、生徒を十分に成長させていきたい。

保健厚生部

各種健康診断は実施できたが、貧血検査では、体調不良者が多数出たので、次年度の実施方法については見直しが必要。

保健室利用が年々増加している。多い日は10名を超える事もあった。様々な理由があるが、部署を超えて、多くの先生方と協力して対応していきたい。

「健康状況への配慮」が95%になっているのは、職員全体で生徒の健康が守られていると考えられる。

教育相談部

各種テストやアンケートを実施し、生徒個々・学級集団の把握ができた。

スクールカウンセラーを利用している。今年は延べ人数で32名の利用があった。継続したカウンセリングが実施できていると考えられる。スクールカウンセラーからは助言や保健講話をしていただき、有効に活用できている。

県の事業により、かがやきプラン支援員が配置されている。成績下位者だけでなく上位者への個別指導にも対応できた。

情報管理部

生徒一人一台端末を実現することができた。今後は、授業等での活用にさらなる工夫が必要である。

事務

県費が少なくなってきたが、電気料・燃料高騰分の予算を確保できたので、生徒の学習環境には影響が無かった。第二体育館の照明をLED照明にし、省エネに努めた。

学校徴収金については、適正化と効率化を図る。振替手数料が改定されたのに続き、伝票処理手数料が新設される

学科・学年

電気電子科では、ジュニアマイスター特別表彰に3名。

(2) 学校評価について

アンケートの回収率については、生徒98.9%、保護者100%、教職員100%であった。

項目別に生徒の評価が高いものは「生徒指導」・「安全への配慮」・「健康状況への配慮」となっている。また、「学校行事」も昨年に比べ評価が大きく上がった。これは、コロナウイルス感染症がら類移行となり、行事等様々な活動が、平常に戻る傾向となったので、その影響は大きい。保護者の評価が高いものとして今年度も「本校の満足度」となっている。一方、評価が低いものは「PTA活動」になっている。様々なPTA活動は再開してきているが、多くの保護者が関わっていただけるようなより魅力的な活動が必要と思われる。また「分かる授業」についても、ICTを活用した授業展開など、来年度もさらに教育活動を発展・向上させていきたい。

生徒達は、様々な悩みを抱えており、それにしっかりと向き合う体制作りを進めるとともに、日々の様子に注意しながら生徒に寄り添い、保護者との連絡を十分に取しながら、学年・分掌・学科・部顧問など関係部署が連携してサポートしていきたい。

今年度は徐々に教育活動が日常に戻りつつあり、各種活動が充実してきている。さらに内容の検討を行い、生徒が活発に取り組める学習を目指していきたい。

4 意見交換

○ 中学校の状況は、SNS関連が中学校でもある。小学校の頃から持たせているので、小学校の頃から問題を起こしてしまう事もあった。コロナもあり、情報モラル関連の事を生徒・保護者へ訴える事ができなかったこともあるので、今年入学してくる生徒の保護者説明会では、生活安全課から講師を呼んで、情報モラル関連の事を説明してもらった。対応については、生徒からの訴えであれば、生徒指導としてできるのですが、小学校・中学校では意外と保護者からの訴えが来ると、保護者対応で終わってしまうので、子供たちにとっては親が解決してくれ、子供自身があまり考えていない部分が多いのかなと思うので、その辺はしっかり指導していきたい。

部活動では、全校生徒 81 名のうち 30 名が部活動に入っていない。まだ決定ではないが来年度から釜石市として、土日の部活動については地域移行に着手していく事を考えている。来年度から実施できそうな競技は、野球・バドミントン・卓球が新人大会を目指して活動する予定。4月から実施できればという事で、入学した学校にない部活は、他校にいつか活動しても良いという事が予定されている。

○ 目標が達成できている項目が多いので、成果が出ているのかなと思う。引き続き努力をしてほしいと思う。

卒業すると、進学・就職問わず、地域社会に出るので、在学中も地域社会と関わりを持つ事も必要なのでは。行動規制も良くなってきているので、チャンスがあれば校外での活動もしてほしい。

○ 地域の事を学んでいるところは、良いのではないか。地域に残ってくれる人も多くなってほしい。

生徒の人数も少なくなってきたが、マナーについては、以前より良くなっていると思う。引き続き指導をお願いしたい。令和8年度までは、県の被災地支援で通学支援もあるので、三鉄に限らず公共交通機関を利用してほしい。

○ 教員の教科の枠を超えて、相互に授業参観し、指導力の向上に結び付けるところが凄いことだと思った。授業評価アンケート結果を元にどうしたのか、評価検証すべきというところが大事だと感じる。

アンケートでは、学校に対して生徒も保護者も評価しているが、これはパーセントだけなので、どう学校なりに解決に向かうのか、また、本来保護者の責任ではあるが、両方が一緒になってやらなければならない中で、学校としてできる事と保護者に要望する事をしっかり整理して、そこに向き合い、少ない生徒数ではあるが地域の未来を担ってくれると思うので大事に育て、強く指導していただきたい。

○ ジュニアマイスターの特別表彰は素晴らしいと思う。子供達も、励みになるのではないか。資格取得については、資格をとっても、必ずしも就職に生きるわけではないが、資格を持っていない人からするとうらやましいので、卒業してからも生きる事があるので、上位資格だけではなく、地道な資格についても取らせてほしい。

5 学校運営協議会

令和6年度より設立

6 閉会のことば